

第 48 回みやぎ医学検査学会報告

平成 28 年 7 月 12 日

文責：広報副部長 武田浩子

第 48 回みやぎ医学検査学会が平成 28 年 7 月 2 日（土）フォレスト仙台を会場に開催された。

学会長を大森智子技師会長が務め、実行委員や多くの実務委員の協力のもと、270 名を超える参加者となった。

今回の学会のテーマは「積極人生 臨床検査技師 一歩前へ!」。特別講演は、「臨床検査のガイドライン JSLM2015」にも執筆されておられる仙台市立病院泌尿器科部長の石戸谷滋人先生にお話をいただいた。職域拡大のためにもコミュニケーションが大切であることや、泌尿器科医師の立場から尿沈渣の技師コメントは非常に有益であり診療側へ是非伝えてほしいことなど、積極的な臨床検査技師の姿勢に期待する内容であった。また、シンポジウムは「検査説明・相談が出来る臨床検査技師って!？」と題して、5 名の検査分野・専門分野の異なる臨床検査技師の立場から意見が述べられた。直接患者さんに関わっているシンポジストからは、患者さんへの説明のコツや課題など今後取り組むヒントとなるような意見が述べられた。一般演題も 21 題発表され、活発な質疑応答が行われた。

今学会には、受付開始時間前からたくさんの参加者が来場し、閉会まで盛況であった。夕方には会場レイアウト変更のため、会場が狭められ椅子だけの会場に詰め込んでの演題発表となったが、実行委員の的確な指示と参加者の機敏な協力姿勢もあり、その後の情報交換会も盛り上がりのあるものとなった。



学会場

フォレスト仙台

「フォレストホール」

一般演題

何れの演題も活発な討議が繰り
上げられました



情報交換会
学会以上の盛り上がりとなりました！

第 48 回みやぎ医学検査学会 実行委員一同

